

洋書輸入協会会報

VOL. 10

NO. 2

(通巻 106 号) 昭和 51 年 2 月

理事会報告

12月26日(金)

- (一) Nature 誌の問題についてその後の交渉経過の報告あり。
- (二) 通関委員会から、12月25日日本出版クラブにおいて通関に関する新しい通達の普及のため開かれた説明会について報告あり。
- (三) 内外の諸情勢について討論。
- (四) その他。

1月13日(火)

- (一) 内外の諸情勢について討論。
- (二) その他。

理事会と外国出版社代表との懇談会

1月21日(火) 2時から4時30分まで上記の懇談会が日本出版クラブにおいて開催され、レプ18社が参加、盛会であった。この懇談会では福田理事長代理が当面する問題についての理事会の考え方をのべたのにひきつづき、各出席者が意見をのべた。新しいマーケットをひらくためにどうするか、当面する内外の問題にどう対処するか、海外の出版社の考え方はどうかなど重要な問題がレプの出席者から提起され、双方にとってきわめて有意義であった。

通関委員会だより

横浜税関見学会レポート

10月15日朝、東京外郵出張所前に用意されたバスに乗り込みました。洋書輸入協会の人達だけでなく、いわゆる商社の人なども多かった様です。洋書輸入協会の委員の人がいろいろお世話をしてくれた訳ですが、東京税関からも森広報官が、説明のため来て下さいました。秋晴れのもと、バスは一路横浜税関へ向かいました。

そこで、海外からの麻薬や金、銀の密貿易の取締りをする、いわゆる麻薬Gメンの活動を紹介した映画を見せてもらいました。その中で輸入量をごまかし、暴利を得ようとして、大商社がぐるになった不正輸入を摘発された例など

の説明もあり、税関業務の一面を知る事ができました。又、現場のラインを見せてもらいましたが、昼休み時間の為、実際業務を見られなかったのは残念でした。

その後、本牧埠頭の見学に移り、コンテナの種類、倉庫の種類、管理システムの説明を受けた訳ですが、説明の為本牧埠頭にきている税関の係官の方が同乗してくれて、専門用語を駆使しての説明は、少々理解できないところもあり、日頃の勉強不足を痛感しました。しかし、税関業務の機能やシステム、その必要とされる面など、日頃の仕事の見直しにもなり一日有意義な見学会でした。

(東光堂書店 村田)

理事会報告.....	1	外国出版社の紹介 No. 43 (Frederick Warne & Co., Ltd.).....	4	ニュース.....	7
横浜税関見学会レポート.....	1	桜井喜代志氏逝去.....	5	通関統計.....	7
新年懇親会.....	2	弔辞 相良廣明.....	5	計報.....	7
72会ゴルフコンペ.....	2	Book Review No. 33.....	6	総代理店ご案内.....	7
国際出版連合(IPA)第20回大会.....	3	海外ニュース.....	6	広告(南江堂).....	8

新年懇親会いよいよ盛大に！

新春の天候が一年間の景気の好悪を象徴するのであるとしたら、今年は完全に景気上昇の一年であると思わせる様な一日、1月9日夜恒例の洋書輸入協会新年懇親会がプレス・クラブで行われた。文化厚生委員長渡辺正廣氏の司会により、理事長飯泉新吾氏の「現在が景気のどん底であると思われるこの時、協会各自が力を合わせ、この不況を乗り切ろう」と力強い年頭の御挨拶があった。「コトシモ、イッショウケンメイウリマシヨウ」とこれまた迫力あるメッセージは、OECDのバーネット所長であった。また協会の功労者でもあられた、丸善相談役、桜井喜代志氏の計

報が、司会者よりあらためて伝えられ、全員哀悼の意を表した。

この一年をどのように闘いぬくかという秘策を胸に秘めながらも、この日ばかりは、なごやかに、余裕ある歓談が続けられた。さすがに苦労人の多い協会員である。とはいえ、今年の参加者が昨年より12%も少なかったのは流行の風邪のせいばかりであろうか。

さいごに紀伊國屋の相良廣明氏の音頭で手じめを行い、散会した。

(トッパン 吉川)



文化厚生委員会だより

72会 ゴ ル フ コ ン ペ

ゴルフ同好会の1975年納会は去る12月14日伊豆スカイラインCCにて開催された。当日は討ち入りの日、山と川との合言葉のもとに山川会長以下20名が参集し快晴の中伊豆高原にて楽しい一日を過ごしました。

今回は第11回目に当り過去1～10回の優勝者に依る72杯取切り戦も併せ行われ大変なハッスルぶりでした。結果は下記の通り

優 勝 鍵谷（ノベルティ）136（22.5）110.5

準優勝 白 井（洋 販）146（33）113

3 位 上 杉（UPS）142（28.5）113.5

取切り戦勝者 鍵谷（ノベルティ）

尚それより前に行われた第10回コンペは9月GMG八王子にて12名参加、優勝市川（BFA）139（33）106、第9回は4月厚木国際にて16名参加、優勝は鶴（東亜ブック）142（43.5）98.5でした。

ホールインワンはゴルファーの夢、一生に一度も出来ない程確率の低いものですが去る7月2日当会会長の山川さんが横浜CCにて達成されました。金詰り、外貨不安等と不況の囁かれる中で一服の清涼剤に値する爽やかなニュースでした。

村山（ゲーテ）記

国際出版連合 (IPA) 第20回大会について

5月25日(火)から6月1日(火)までの8日間京都(国立京都国際会議場)および東京において国際出版連合(IPA. International Publishers Association)の第20回大会(「出版を通じての文化振興のための国際会議」)が開催され、これには海外から約1,000名、国内から約500名の参加が予想されています。Publishers Weekly (12月29日 Vol. 208/No. 25)には A special report: Publishing in Japan という特集記事がでていますし、Börsenblatt für den deutschen Buchhandel (12月2日 31. Jg./Nr. 96)には XX. Kongress der internationalen Verleger-Union in Japan という記事がでています。またわれわれの耳にも海外の出版社の訪日の噂ははいってきます。各国の出版社も相当に熱をいれているようにみえます。1,000名(夫人も含めて)という海外からの参加者はまさに驚異的ですが、このほとんどすべてがわれわれと直接に関係のあるひとたちなので、この会議には十分注目する必要があります。

IPAは34カ国の加盟国をもつ出版界最大の国際組織です。19世紀末にヨーロッパの出版人を中心として創設され、約80年の歴史をもっています。日本からは1958年に日本書籍出版協会が加盟しています。各国2名ずつで理事会を構成して運営されていますが、野間省一書籍出版協会会長と下中邦彦同協会理事長とが理事となっています。会長は英国のBoon氏(Mills & Boon 社社長、英国出版協会会長)、副会長は野間氏、事務局はジュネーブにあります。IPAの目的の第一は「言論・出版・表現の自由確保のための団結」にありますが、国際著作権の調整、出版流通・輸送・関税などの円滑化、発展途上国の出版開発、出版資料の開発と交流、出版情報の交換など国際的な出版関係の問題をとりあげています。大会は4年に一度ひらかれます

が、こんどの大会は第17回ワシントン大会につづいてヨーロッパ以外でひらかれる二度目の大会となります。第20回大会は日本書籍出版協会を主催団体として開催されます。大会会長は野間氏、その下に52名の委員からなる組織委員会があり、この委員会が運営の実際にあたります。名誉委員会には内閣総理大臣ほか関係各大臣、文化庁長官、東京都知事、京都市長などが名をつらねています。別にこの大会の主旨に賛成し、何らかの協力をしようという団体が協力委員会がつくられています。わが洋書輸入協会は理事長名でこの委員会に参加していますが、その他の協力委員は学術会議会長、国会図書館長、日本文芸家協会会長、日本商工会議所会頭、日本印刷工業協会会長など27名です。

この大会がわれわれにとって大事なのは、海外から約1,000名の出版社代表が訪日するということだけにあるものではありません。大会では21の議題が予定され、それぞれテーマをもった6分科会で討議されます。議題については各国から報告書がよせられ、主報告国と補足報告国とが報告します。その21の議題のなかには、われわれに直接関係があり、したがって深い関心をもたざるをえないものがあります。とくに第六議題「定価維持、自由価格の功罪」(主報告スウェーデン、補足フランス)、第九議題「陸・海・空路の図書の輸送」(主報告英国、補足スペイン、日本、音楽出版部会)、「複写・複製問題」(主報告STM、補足英国、オーストラリア)などはとくに興味をひくものです。これらの討議のほかに、大学出版部、学術図書出版、音楽出版、児童図書出版などの会合も、それぞれの独自の議題のもとにおこなわれる予定です。(I)

スペースの関係でここでは概略のみをお知らせいたします。日程、議題、組織などこまかい点については事務局にお問合せ下さい。

析 折 久美子「モロッコ革の本」

1975

筑 摩 書 房

ヨーロッパの本がもともとはアンカットの仮綴じ本の形で出版され、それを買ったひとがじぶんの好みで革装本に仕立てさせるということが長くつづいていたことは、洋書を扱うひとなら誰でも知っているであろう。その頃には、まさにたくさんの製本師がいたのだった。王侯貴族がおかかえの製本師をもち、紋章入りの豪華本をつくらせた時代もあったのである。いまでもフランスにはとくに文学書の仮綴じ本があるが、以前はもっと多かったものだった。機械製本の発達とともに、本を革で製本しなおさせる必要は小さくなったし、こういう手仕事はたかくつくのだから、これがへってきたのは当然のことである。いまでは著者の先生であったベルフロア女史への「依頼者たちは、ほとんどが愛書家というコレクターで、特権階級的な匂いもしなくはないクラブをついている。本は、つくろうとすれば、一度に何十万部でも印刷できるのに、先ず初版は特別の紙に三十とか四十部、極端な場合になると三部などという限られた数だけ印刷される。それが特別のルートを経てコレクターの手に渡り、高価な芸術品としてルリユールされる。美術品並に売買の対象になる」という状態である。それでもフランスでは、製本用具と材料との専門店を成立させるぐらい多くの製本家がいるようである。手仕事としての製本の歴史を生活のなかにもっていたフランス人には、アマチュアとして製本をしている人も多いということである。

この本は、本の仕立て——皮革装幀(ルリユール)——を学ぶためにベルギー国立高等建築視覚芸術学校のルリユール科に実習生として留学した著者の記録である。著者は「いくらかでもものの役に立ちそうな外国語はフランス語しかできないこと。ドイツ流、イギリス流、フランス流と、いくつかあるルリユールの流れの中で、とりわけ繊細で、文学書の装幀を主として深められてきたフランスのルリユールに心をひかれていること。ベルギーはその流れをうけついでいて、しかもこうした伝統工芸

の技術がよく保存され、伝えられていること」などの理由からこの学校をえらんだのである。

ブック・デザイナーである著者は、正規には四年かかる学校の課程を「三カ月の勉強で三年生の実力がある」といわれるほど熱心に研究をかさね、ぜんぶで七名のルリユール科の学生、ベルフロワ先生、個人的についたチェケレル先生、その他周囲のひとびとにあたたく見守られ、また助けられて、ブリュッセル滞在をおえた。

しかし、この本はルリユールの解説書でも入門書でもない。もちろんこの本を読めば、ルリユールにどれほどの根気、努力、忍耐、細かい技術、美的感覚、それにいい材料——とくにモロッコ革——が必要であるかがわかるし、その製作過程も理解できるだろう。しかし、この本は、修業記、滞在記、紀行文の一種のミックスチュアともいえるが、何よりも感性豊かでしかも知的な、そしてあたたかい心をもったひとりの女性が、ブリュッセルの五カ月間をその生活そのものをも含めて感情豊かにえがきだした類稀な記録である。この本にでてくる彼女の周囲のひとたち、とくにベルフロア女史とチェケレル先生とは、それぞれ個性的に、しかも著者の敬愛をこめてえがかれている。

「私もいつかは『私のルリユール』を持ちたいと思う。日本人である私が西洋の伝統工芸を学んだという独自性が、もしあらわせるものならば。……日本の伝統工芸をルリユールに活かすことができるものならば」という夢を著者はえがいている。素人のわたくしには判断のすべはないが、著者が学んだことがこういう形でいきるのもひとつのいき方だろう。著者がこの夢をつかみとることを期待したい。

ベルギーでは伝統工芸がいかに大事にされ、保存されているかをこの本はおしえてくれる。そしてこの問題を日本に生きているわれわれの直接の問題として考えさせてくれることは、ルリユールをこえたもっと一般的な問題である(Ⅰ)

桜井喜代志氏逝去さる

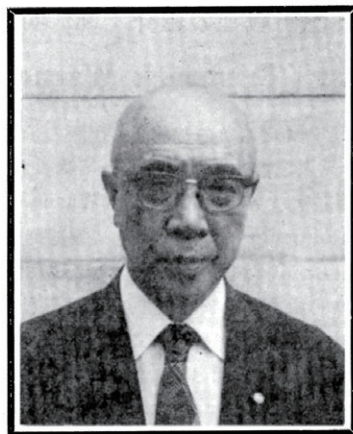
洋書輸入業界発展のため、生涯をこの道一筋に情熱を傾け、特に戦後の混乱期に不退転の信念を以てその復興に尽された丸善株式会社顧問桜井喜代志氏が去る12月28日脳卒中のため急逝された。

前日まで72歳とは思えぬご健勝ぶりで執務に専念されていただけに、その悲報は誠に痛惜のきわみである。

葬儀は年末であるのご遺族のご配慮により、12月29日は近親者による密葬が済され、1月12日午後1時より東京杉並の築地本願寺和田堀廟所に於て本葬が執り行われ、協会より各理事ほか大勢が代表として参列した。

各界より贈られた花輪と生花に囲まれ、永遠の眠りにつかれた御霊を前に、僧侶の読経につづき、丸善飯泉社長（協会理事長）と協会代表紀伊國屋書店相良取締役より故人の死を悼み、業績をたたえ、思いをつづり、限りない愛慕の情を盛り上げた弔辞が朗読され、又、海外出版社をはじめ各業界より寄せられた弔電が披露された。更に読経、焼香につづき午後2時厳粛のうちに葬儀は滞りなく終了した。

引きつづき行われた一般告別式には、折からの寒気の中を、協会会員、海外出版社代表をはじめ、故人を偲び哀悼



の意をこめて告別する縁故者約500名が相次いで参列した。

ここに慎んで冥福をお祈り致すとともに、生前の業界に残された偉大な功績に対し衷心より感謝と敬意を表する次第である。（理事会）

ご参考までに未亡人の住所は次のとおりである。

桜井つぎ子様

〒168 東京都杉並区高井戸東4-10-8

電話 (03) 334-8635

弔 辞

株式会社 紀伊國屋書店取締役
洋書輸入協会代表

相 良 廣 明

謹みて桜井喜代志氏の御霊前に、洋書輸入協会会員一同の哀悼のまことを捧げ、お別れの言葉を申し上げます。

桜井さんは、我々業界の大先達として、我々を指導して下さいました。戦後日も浅い頃より、理事長代理として洋書輸入協会のまとめ役を担当せられ、永年の間を本当に良く尽されました。

当時の我々の業界には、創業間もない会員が多く、戦国時代とも申すべきときで、何かと桜井さんに御無理を申し上げては、困らせたことも度々あったかと存じます。それを、洋書と共に半世紀を過ぎた永い御経験と、深い含蓄と、加えて広い国際的視野から、見事に問題を処理して下さいました。その頃の、温顔の中にも時折見せられる厳しい表情が、なおありありと我々の記憶に残っております。

桜井さんの御指導によって、業界が大きく前進しました第一の業績は、昭和32年から3年にかけての、著作権法一部改正の問題であります。当時あまりにも海賊版の横行が甚だしく、日本の信用問題にまで発展致しましたために、自由党代議士北村徳太郎先生、稲葉修先生、社会党高津正道先生、文部省著作権課の大田課長を始め、各政党・官庁を歴訪し、ついに議員立法として、明治32年以来据えおか

れた罰則を改正して、5月15日に公布されるに至り、大きく海賊版防止に役立てました。

第二としては、協会会員一同の多年の念願でありました独立事務所設置のことを挙げなければなりません。これには会費の大幅値上げを含む幾多の諸問題がありながらも、遂に実現せられると共に、現行委員会の大部分を創設し、かつ洋書輸入協会会報の創刊に踏み切られた次第です。

このように、昭和30年代から40年代にかけての洋書輸入協会は、桜井さんの御指導により基礎固めがなされ、発展していったと申しても過言ではありません。心から協会会員一同の感謝の念を捧げたいと存じます。

昨年の11月17日に、理事一同で多年の桜井さんの御尽力に対し、送別の席を設けましたが、その席上で見事な喉を聞かせて頂きましたことも、昨日の事のように耳に残っております。しかも今日忽然として急逝せられましたことは、まことに残念でなりません。

お名残は尽きませんが、これをもってお別れの言葉と致します。

昭和51年1月12日

Frederick Warne & Co., Ltd. (London)

小なりといえどもその特色ある出版の伝統を守り続けている英国児童書出版社です。創始者の Frederick Warne は、兄の William Henry Warne と共に 1830 年代から Routledge 兄弟と共同して書店経営と出版をしていましたが、1865 年に独立して現在の Frederick Warne 社を始めています。独立して初めて企画出版した Chandos Classics という文学双書が大当たりをとり、以後 Routledge から引き継いだ "Nuttall's Dictionary" のほか、Kate Greenaway, Randolph Caldecott, Edward Lear 等 当時有名な児童絵本作家の作品を次々と刊行して成功をおさめました。その後更に Leslie Brooke, Beatrix Potter (ピーター・ラビットの作者) 等やがて国際的に著名となった子供の絵本作家達が Warne 社によって世に出されています。

これら絵本作家の作品は現在も Warne 社のリストの中心をなしており、これまで何十回と版を重ね、今や児童絵本の古典として全世界の子供達に親しまれています。たとえば Kate Greenaway の 'A-APPLE PIE' という絵入りの alphabet book は、現在の版も H から J にとび I が抜けていますが、これは製本の間違いでは

なく、この本の初版が刊行された 1886 年には 'I' はまだ英語のアルファベットに入っていなかったもので、作者の死後加わった文字を入れることが出来ず、初版当時のまま現在も版を重ねている為なのです。古くても良い作品を大切に守り続けている良心的出版社の面目躍如というところでしょう。

ここ数年来出版界にも復古調ブームがおとずれ、絶版となっていた古い作品の覆刻が盛んになっています。Warne 社の出版は決して流行を追っているわけではありませんが、このブームの影響もあってその堅実な出版が改めて見直されており、業績も順調に伸びています。Warne 社の現在のリストは上記絵本類の外、ぬりえ、パズル、グリーティングカード等の小物類、小型の図鑑シリーズとして定評のある Observer's Pocket Series, "Boutell's Heraldry" など趣味の図鑑、一般向けの辞書類を加えて充実したラインアップを構成しています。

Warne 社の日本総代理店はユナイテッド・パブリッシャーズ・サービス社ですが、同社では最近の絵本ブームに合わせて Warne 社 出版物の在庫も充実させているようです。会員各位の御利用をおすすめします。

海外ニュース

「PW誌の日本特集記事」

Publishers Weekly 誌の Vol. 208, No. 25 (1975年12月29日号) の pp. 34~48 に "Publishing in Japan" と題して日本の出版業界の特集記事が組まれている。

日本の特色として日販、東販の卸組織や書店チェーンなどの流通機構を解明しているほか、代表的な出版社や版權代理業者、種々の出版事情などを紹介している。

協会メンバーの中でも、代表的な書店として丸善と紀伊國屋、特色ある出版社として医学書院、タトル、ウェザーヒルなどがかなりのスペースをさいて紹介されている。

(Publishers Weekly, 1975年12月29日号)

——紀伊國屋書店提供——

新設立会社

Wilton House Gentry Ltd.

85 Gloucester Road, London S. W. 7

Tel. 01-373-4142

Gentry と Wilton House の合併会社で、両者の専門分野を生かし、Gentry の側からは旅行・ドライブ、Wilton はビジネス・社会科学・経済学等の図書を出版する予定です。(「英国出版ニュース」1975年11月号)

国際書籍業者会議

International Community of Booksellers Associations は、1976年8月15日~21日に Fiji で International Pacific Book Trade Seminar を開きますが、この会議では、市場契約、流通機構、出版、販売に関する政府の介入について討議されます。インドネシア、ホンコン、日本、アメリカの西海岸等、太平洋地域の国からの出席が期待されています。(「英国出版ニュース」1975年12月号)

詳細は下記にお問い合わせください。

International Community of Booksellers Assn.

Mr. Zifcak

86 Bourke Street, Melbourne 3000, Australia

英国の図書館予算

イギリスとウェールズの公共図書館の1974/75—75/76の予算は次の様に発表されました。

	1974/75	75/76	増 加
図 書	£19,789,000	£23,127,000	16.9%
製 本	1,509,000	1,843,000	22.1%
そ の 他	1,448,000	1,626,000	12.2%
合 計	98,682,000	130,731,000	32.6%

(「英国出版ニュース」1975年12月号)

ニュース

スイス: Mr. Jean Hirschen, Manager, Office du Livre SA., Fribourg, Switzerland 1月中旬来日。

米 国: Mr. Richard Wolff, Education Group International Esquire, Inc., U. S. A. 1月中旬来日。

西 独: Mr. Dietrich Pinkerneil, Scriptor Verlag, Frankfurt/Main 及び Mr. Johann Holler, Ferdinand Keip, Frankfurt/Main 1月下旬来日。

和 蘭: Dr. E. van Tongeren, Member of the Board of Elsevier, Mr. M. C. Baltzer, Director, Elsevier / Excerpta - Medica / North - Holland 及び Mr. Ryoji Fukada, Manager, Elsevier / Excerpta - Medica / North - Holland 1月下旬来日。

印 度: Mr. B. R. Sethi, Export Manager, UBS Publishers Distributors Pvt Ltd., New Delhi 2月上旬来日予定。

通関統計

外国貿易概況(大蔵省関税局編、日本関税協会発行)

1975年10月号所載。

書籍、新聞、雑誌の輸入額。

昭和50年10月 \$8,896,000 1月以降累計 \$83,389,000

昭和49年10月 \$8,880,000 // \$70,362,000

(註) この統計は、C I F 価格で10万円以下の少額貨物は含まない。

計 報

上 柳 貢 氏 (株) 亜細亞書院社長

かねて病氣療養中でしたが、去る1月12日逝去されました。1月13日坂本昇氏を葬儀委員長に社葬がいとまれ、会員ほか多数が参列しました。

総代理店ご案内

次の通り日本総代理店の案内がございました。
お手許の Agent List にご記入願います

丸 善 (株) ☎ 272-7211

Büchner, F. — Allgemeine Pathologie und Ätiologie: Pathologie als Biologie und als Beitrag zur Lehre vom Menschen. '75. X, 390 S. (Urban) ¥11,560

Cott, J. (ed.) — Masterworks of English Children's Literature: 1500-1900 5 Vols. (Stonehill Pub.) (Ready in May) Set ca ¥37,000 (Prepublication price till April 15, '76) Set ca ¥31,450

Greenfield's Neuropathology. 3rd ed. Ed. by W. Blackwood and J. A. N. Corsellis. '76. 960 p. (E. Arnold) (Ready in January) ca ¥33,000

Seeds of Conflict Series 5: GERMANY, 1900-1930. From World War to Weimar Fall of the Empire Rise of the Republic. 9 Parts, 13 Vols. Reprint. Cloth bd. (Kraus Reprint Limited) Set ¥209,000

Stedman's Medical Dictionary. 23rd ed. '76. (Williams & Wilkins) (Ready in March) ca ¥5,800

(株) 三省堂書店 ☎ 293-8119

Newbury House Publishers, Inc.

68 Middle Road, Rowley, Mass. 01969 U. S. A. All Titles

三 洋 出 版 貿 易 (株) ☎ 669-3761

Thermal Analysis: Proceedings of the Fourth ICTA Conference, Budapest 1974

Volume 1 — Theory, Inorganic Chemistry.

Volume 2 — Organic & Macromolecular Chemistry, Earth Sciences.

Volume 3 — Applied Sciences, Methodics & Instrumentation. Edited by I. Buzás (Heyden & Son, London)

1975年刊 全3巻セット ¥52,800
各巻 ¥22,000

ユニテッド・パブリッシャーズ・サービス社

☎ 262-5278

Benjamin Blom, Inc. (アメリカ) 総代理店

Grasset Jeunesse (フランス) 総代理店

Editorial Blume (スペイン) 総代理店

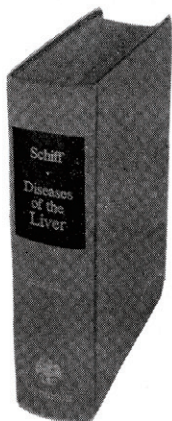
Shocken Books, Inc. (アメリカ) ストックリスト

改訂第4版

〈肝臓病学〉

Diseases of the Liver, 4th ed.

Edited by Leon Schiff with 57 contributors



新版は新しい27名の執筆者を加えた計57名の関連領域の世界的権威者により、肝疾患のあらゆる領域を臨床から病理まで完全に網羅し、最新知見を加えた百科辞典ともいえる必携の書である。

— CONTENTS —

- | | |
|--|--|
| 1. Anatomic Considerations | 22. Pharmacological Considerations in Liver Disease |
| 2. Electron Microscopy of the Liver | 23. Immunologic Disorders in Liver Disease |
| 3. Secretion of Bile | 24. Chronic Active Hepatitis |
| 4. Bile Acids and Hepatobiliary Disease | 25. Fatty Liver: Biochemical and Clinical Aspects |
| 5. The Formation and Treatment of Gallstones | 26. Cirrhosis |
| 6. Hormones and Hepatic Function | 27. Biliary Cirrhosis |
| 7. Disordered Hemostasis in Hepatic Disease | 28. Hemochromatosis |
| 8. Laboratory Tests | 29. The Liver in Hepatolenticular Degeneration |
| 9. Needle Biopsy of the Liver | 30. Amyloidosis of the Liver |
| 10. Laparoscopy | 31. The Liver in Circulatory Failure |
| 11. Bilirubin Metabolism | 32. Neoplasms of the Liver |
| 12. Jaundice | 33. Parasitic Diseases of the Liver |
| 13. Portal Hypertension | 34. Surgery of the Liver |
| 14. Splenic and Arterial Portography and Hemodynamics in Portal Hypertension | 35. Transplantation of the Liver |
| 15. Ascites | 36. Liver Disease in Infancy and Childhood |
| 16. Liver-Kidney Interrelationships | 37. Roentgen Aspects of Liver and Biliary Tract Diseases |
| 17. Hepatic Coma | 38. Diseases of the Gallbladder and Bile Ducts |
| 18. Viral Hepatitis | 39. Miscellaneous Disorders |
| 19. Viral Diseases of the Liver Other than Infectious and Serum Hepatitis | 40. Index |
| 20. Toxic and Drug-Induced Hepatitis | |
| 21. Hepatitis Associated with Systemic Infections | |

4th ed. 1975 1,461pp. ¥25,530 2月入荷予定



J. B. LIPPINCOTT COMPANY

PUBLISHERS

EAST WASHINGTON SQUARE

PHILADELPHIA, PA. 19105

日本総代理店 南江堂洋書部

本店 113 東京都文京区本郷3-42-6・振替口座東京 149・電話(811)7234(代表)
支店 604 京都市中京区寺町通御池南・振替口座京都5050・電話(221)7841(代表)

昭和51年2月 通巻第106号 洋書輸入協会 編集者 寺久保一重
☎ 103 東京都中央区日本橋1丁目20番3号 藍沢ビル302号室 ☎ 271-6901
☎ 530 関西支部 大阪市北区芝田町28 第一山中ビル ☎ 371-5329